

3 生涯にわたるスポーツの推進

- 【1】 スポーツ推進委員費
- 【2】 市民体育大会費
- 【3】 市民スポーツ振興費
- 【4】 総合型地域スポーツクラブ育成支援事業
- 【5】 温水プール運営費補助金
- 【6】 トップアスリート育成費
- 【7】 スポーツエキスパート派遣事業
- 【8】 子どもの体力向上推進事業費
- 【9】 バウンドテニス交流大会開催費
- 【10】 市民スポーツフェスタ開催費
- 【11】 夢の教室開催費
- 【12】 スポーツ・健康づくり推進事業
- 【13】 社会体育施設管理費
- 【14】 テニス村管理運営費
- 【15】 テニス村整備費
- 【16】 総合体育センター管理運営費
- 【17】 総合体育センター整備費
- 【18】 スポーツ・健康の森公園管理運営費

【教育委員会事業評価シート】

事務事業名		スポーツ推進委員費	担当部署		教育委員会 スポーツ課
総合計画	大分類	第1章 ひとが元気	予算費目	会計	01 一般
	中分類	第1節 教育と文化のまちづくり		款	10 教育費
	小分類	5 生涯スポーツの振興		項	05 保健体育費
	010105			目	01 保健体育総務費

事業の対象

誰・何に対して	滑川市スポーツ推進委員、市民のスポーツ振興
---------	-----------------------

事業の目的と達成度

意図(どのようにしたいか)
市民のスポーツ振興を図るため、市民ニーズの把握や研修会を開催し、資質の向上を図る。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)					
指標名	単位		27年度	28年度	29年度
研修会、講習会の開催	回	目標	10	10	10
		実績	10	10	10
		達成率	100%	100%	100%
		目標			
		実績			
		達成率			

事業の内容と活動量

手段(どうすることによって)
①ニュースポーツの普及、振興…地域での体験会の企画、開催、指導者、審判資格の取得 ②市及び体育協会主催行事の企画、運営協力

(単位:千円)

決算額			
	27年度	28年度	29年度
直接事業費	2,307	2,377	2,591
計	2,307	2,377	2,591

個別評価

	評価コメント(理由・説明)
事業実施の必要性	法律に定めて設置しており、生涯スポーツの普及、振興を図るため必要である。
活動内容の有効性	市、地域スポーツの振興を図るため、各種研修会などの開催、参加により資質向上を図る事業を実施している。
執行方法の効率性	事業の一部については、市体育協会等との連携により、事業の効率化を図っている。
公平性	地区からの推薦により選出されているが、新規委員が少ない。

総合評価

総合評価と所見	評価	総合コメント(個別評価の結果を踏まえて、事務事業の課題を整理)
	A	本市のスポーツ振興を推進するための中心的な役割を担うため、事業継続は必要不可欠である。

A:計画どおり事業を進めることが適当である B:事業の進め方などに改善が必要である
C:事業規模・内容・実施主体の見直し、又は事業の統合の検討が必要である D:事業の休・廃止の検討が必要である

改革・改善策

具体的な改革・改善策	事業内容は特に問題ない。
------------	--------------

【教育委員会事業評価シート】

事務事業名		市民体育大会費		担当部署		教育委員会 スポーツ課	
総合計画	大分類	第1章 ひとが元気		予算費目	会計	01	一般
	中分類	第1節 教育と文化のまちづくり			款	10	教育費
	小分類	5 生涯スポーツの振興			項	05	保健体育費
	010105				目	01	保健体育総務費

事業の対象

誰・何に対して	市民の健康の保持増進
---------	------------

事業の目的と達成度

意図(どのようにしたいか)
市民のスポーツ振興、普及発展と健康の保持増進を図るために開催する。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)					
指標名		単位	27年度	28年度	29年度
市民体育大会開催種目	種目	目標	23	23	23
		実績	23	23	23
		達成率	100%	100%	100%
		目標			
		実績			
		達成率			

事業の内容と活動量

手段(どうすることによって)
①市体育協会を中心に、各競技種目を開催して市民のスポーツ振興、普及発展と健康の保持増進を図っている。 ②総合開会式と併せて、25年度からは市民スポーツフェスタを開催し、種目間の総合交流を図っている。 ③競技運営を体育協会及び単位協会に委託し、競技団体の自立を図っている。

(単位:千円)

決算額			
	27年度	28年度	29年度
直接事業費	1,745	1,745	1,745
計	1,745	1,745	1,745

個別評価

	評価コメント(理由・説明)
事業実施の必要性	市民の健康の保持増進及び競技力向上を図るため、大会を開催しており、運営についても市体育協会へ委託している。
活動内容の有効性	23競技種目を開催しており、一部県民体育大会の予選会も兼ねている。
執行方法の効率性	市体育協会へ委託している。
公平性	市体育協会へ委託している。

総合評価

	評価	総合コメント(個別評価の結果を踏まえて、事務事業の課題を整理)
総合評価と所見	A	本市の総合競技イベントとして市民に定着しており、歴史のある本大会は、70回の大きな節目の年を迎えた。

A:計画どおり事業を進めることが適当である B:事業の進め方などに改善が必要である
C:事業規模・内容・実施主体の見直し、又は事業の統合の検討が必要である D:事業の休・廃止の検討が必要である

改革・改善策

具体的な改革・改善策	事業内容は特に問題ない。
------------	--------------

【教育委員会事業評価シート】

事務事業名		市民スポーツ振興費		担当部署		教育委員会 スポーツ課	
総合計画	大分類	第1章 ひとが元気		予算費目	会計	01	一般
	中分類	第1節 教育と文化のまちづくり			款	10	教育費
	小分類	5 生涯スポーツの振興			項	05	保健体育費
	010105				目	01	保健体育総務費

事業の対象

誰・何に対して	市民スポーツの振興
---------	-----------

事業の目的と達成度

意図(どのようにしたいか)
市民のスポーツ振興を図るため、市民スポーツ大会の開催、全国大会等出場者(一般・国体)への激励費、スポーツ少年団への育成助成等を行う。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)					
指標名	単位		27年度	28年度	29年度
国民体育大会出場者数	人	目標	15	15	15
		実績	12	12	16
		達成率	80%	80%	107%
		目標			
		実績			
		達成率			

事業の内容と活動量

手段(どうすることによって)
市民のスポーツ振興を図るため、市民スポーツ大会の開催、全国大会等出場者(一般、国体)への激励費、スポーツ少年団への育成助成等を行う。

(単位:千円)

決算額			
	27年度	28年度	29年度
直接事業費	4,625	5,313	3,675
計	4,625	5,313	3,675

個別評価

	評価コメント(理由・説明)
事業実施の必要性	市民が参加しやすい大会の開催や、全国大会等へ県代表として出場した選手(一般、国体)への激励費の支給、スポーツ少年団組織の育成など、生涯にわたりスポーツに親しむ環境整備のために必要不可欠である。
活動内容の有効性	市民スポーツ意識の高揚を図るため、必要な事業であるが、市民スポーツ大会開催については、種目変更や参加者層の拡大を図るため検討する必要がある。
執行方法の効率性	スポーツ大会の開催については、市体育協会へ委託している。
公平性	激励費の支給額については、県内市町村とほぼ同じ基準である。

総合評価

総合評価と所見	評価	総合コメント(個別評価の結果を踏まえて、事務事業の課題を整理)
	A	市民のスポーツ振興を図る上での必要な事業である。

A:計画どおり事業を進めることが適当である B:事業の進め方などに改善が必要である
C:事業規模・内容・実施主体の見直し、又は事業の統合の検討が必要である D:事業の休・廃止の検討が必要である

改革・改善策

具体的な改革・改善策	全国大会等出場者(主にジュニア層)の増加に伴い、激励費の支出が増えている。他の事業と統合するなど、柔軟に対応できるよう改善していきたい。
------------	--

【教育委員会事業評価シート】

事務事業名		総合型地域スポーツクラブ育成支援事業	担当部署	教育委員会 スポーツ課	
総合計画	大分類	第1章 ひとが元気	予算費目	会計	01 一般
	中分類	第1節 教育と文化のまちづくり		款	10 教育費
	小分類	5 生涯スポーツの振興		項	05 保健体育費
	010105			目	01 保健体育総務費

事業の対象

誰・何に対して	市民スポーツの振興
---------	-----------

事業の目的と達成度

意図(どのようにしたいか)
市民のスポーツ振興を図るための一環として、平成15年に本市総合型地域スポーツクラブ「なめりCANクラブ」が設立され、多種多彩な教室やイベントなどを展開しており、市としても育成支援しながら、自立運営を目指している。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)					
指標名	単位		27年度	28年度	29年度
教室、イベント、セミナー開催数	種目	目標	30	30	30
		実績	25	26	20
		達成率	83%	87%	67%
		目標			
		実績			
		達成率			

事業の内容と活動量

手段(どうすることによって)
なめりCANクラブは市補助金も活用されているが、会員会費を主財源として事業展開をしており、会員獲得に向けて運営役員が協議検討しながら努力している。

(単位:千円)

決算額				
	27年度	28年度	29年度	
直接事業費	1,500	1,500	1,500	
計	1,500	1,500	1,500	

個別評価

	評価コメント(理由・説明)
事業実施の必要性	総合型地域スポーツクラブ「なめりCANクラブ」へ育成補助金として支出している。
活動内容の有効性	運営役員が中心となり、毎月会議を行い、クラブの運営状況や今後の方向性等について協議している。
執行方法の効率性	なめりCANクラブが引き続き自立運営できるよう、協議検討している。
公平性	会員獲得が一番の課題として取り組んでいる。

総合評価

評価	総合コメント(個別評価の結果を踏まえて、事務事業の課題を整理)
A	新たな会員獲得に向けて、教室メニューの見直しを図るなど、役員が定期的に協議している。

A:計画どおり事業を進めることが適当である B:事業の進め方などに改善が必要である
C:事業規模・内容・実施主体の見直し、又は事業の統合の検討が必要である D:事業の休・廃止の検討が必要である

改革・改善策

具体的な改革・改善策	事業内容は特に問題ない。
------------	--------------

【教育委員会事業評価シート】

事務事業名		温水プール運営費補助金		担当部署		教育委員会 スポーツ課	
総合計画	大分類	第1章 ひとが元気		予算費目	会計	01	一般
	中分類	第1節 教育と文化のまちづくり			款	10	教育費
	小分類	5 生涯スポーツの振興			項	05	保健体育費
	010105				目	01	保健体育総務費

事業の対象

誰・何に対して	市民の健康の保持増進
---------	------------

事業の目的と達成度

意図(どのようにしたいか)
幼児から高齢者まで幅広い市民の健康づくりや水泳競技の競技力向上を図る。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)					
指標名	単位		27年度	28年度	29年度
全国大会出場者数	人	目標	20	20	20
		実績	7	6	2
		達成率	35%	30%	10%
プール一般開放利用者数	人	目標	15,000	15,000	15,000
		実績	10,175	10,323	10,358
		達成率	68%	69%	69%

事業の内容と活動量

手段(どうすることによって)
①市民の誰もが利用しやすい施設となるよう指導する。 ②小・中学生～一般まで水泳競技の技術向上に努めるよう指導する。

(単位:千円)

決算額			
	27年度	28年度	29年度
直接事業費	13,740	13,740	13,740
計	13,740	13,740	13,740

個別評価

	評価コメント(理由・説明)
事業実施の必要性	(公財)体力づくり指導協会へ補助金として支出している。
活動内容の有効性	市民の約半分がプールを利用している。また、競技レベルも着実に向上している。
執行方法の効率性	(公財)体力づくり指導協会へ補助金として支出している。
公平性	補助金については、必要な額を助成している。

総合評価

	評価	総合コメント(個別評価の結果を踏まえて、事務事業の課題を整理)
総合評価と所見	B	スポーツ・健康の森公園も完成したことから、(公財)体力づくり指導協会とのより一層の連携が必要である。

A:計画どおり事業を進めることが適当である B:事業の進め方などに改善が必要である
C:事業規模・内容・実施主体の見直し、又は事業の統合の検討が必要である D:事業の休・廃止の検討が必要である

改革・改善策

具体的な改革・改善策	利用者の状況や経営状態を精査しながら事業を継続していく必要がある。
------------	-----------------------------------

【教育委員会事業評価シート】

事務事業名		トップアスリート育成費	担当部署	教育委員会 スポーツ課	
総合計画	大分類	第1章 ひとが元気	予算費目	会計	01 一般
	中分類	第1節 教育と文化のまちづくり		款	10 教育費
	小分類	5 生涯スポーツの振興		項	05 保健体育費
	010105			目	01 保健体育総務費

事業の対象

誰・何に対して	ジュニアアスリート・指導者・競技スポーツ団体の育成及び支援
---------	-------------------------------

事業の目的と達成度

意図(どのようにしたいか)
ジュニア層へは、スポーツトレーニングスクール(中学3年生対象)、トップアスリートによる講習会の実施、全国大会等出場者への激励費・選手派遣費を支給し、育成・強化を目指す。 指導者及び競技スポーツ団体へは、市民スポーツ大学等の講習会開催や、強化育成費を支給(いずれも市体育協会へ委託)を行い支援・強化を目指す。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)					
指標名	単位		27年度	28年度	29年度
全国大会等出場者数(小中高生)	人	目標			120
		実績			144
		達成率			120%
トップアスリートによる講習会、講演会等の参加者	人	目標			300
		実績			270
		達成率			90%

事業の内容と活動量

手段(どうすることによって)
①トップアスリートやトップアスリートの関わる専門家による実技クリニックの開催。 ②中学3年生を対象にしたトレーニングスクールを開催する。 ③激励費、選手派遣費、強化育成費を支給し、競技者の金銭的負担を支援する。 ④講習会を開催し、指導者等へスポーツに関する情報や専門的な知識の提供を行う。

(単位:千円)

決算額			
	27年度	28年度	29年度
直接事業費			4,765
計			4,765

個別評価

	評価コメント(理由・説明)
事業実施の必要性	競技スポーツの振興を図り(特にジュニア層)、本市からのオリンピック選手の輩出を目指している。
活動内容の有効性	競技力向上に対しては即効性はないが、目標達成に向けて継続して行っていくことが必要である。
執行方法の効率性	学校、体育協会等と連携し、効率的に事業を進めている。
公平性	市民スポーツ大学等の講習会は、誰でも参加できるものとなっている。

総合評価

評価	総合コメント(個別評価の結果を踏まえて、事務事業の課題を整理)
総合評価と所見	A 29年度より、未来のオリンピック選手育成事業、スポーツ教室開設費、競技力向上対策費を統合し、競技スポーツの育成・支援を一本化した。近年、全国大会等への出場者数が増加傾向にあり、継続して子どもたちの競技に対する意識の向上を図っていく。トレーニングスクールでは、中学から高校の競技生活の継続を促す効果的な事業であり、内容の検討を重ねながら進めていく必要がある。

A:計画どおり事業を進めることが適当である B:事業の進め方などに改善が必要である
C:事業規模・内容・実施主体の見直し、又は事業の統合の検討が必要である D:事業の休・廃止の検討が必要である

改革・改善策

具体的な改革・改善策	事業内容は特に問題ない。
------------	--------------

【教育委員会事業評価シート】

事務事業名		スポーツエキスパート派遣事業		担当部署	教育委員会 スポーツ課	
総合計画	大分類	第1章 ひとが元気		予算費目	会計	01 一般
	中分類	第1節 教育と文化のまちづくり			款	10 教育費
	小分類	5 生涯スポーツの振興			項	05 保健体育費
	010105				目	01 保健体育総務費

事業の対象

誰・何に対して	中学校運動部活動への地域指導者への派遣
---------	---------------------

事業の目的と達成度

意図(どのようにしたいか)
中学校運動部活動において、顧問(教諭)のほか地域指導者の協力を得て競技力の向上を図る。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)					
指標名	単位		27年度	28年度	29年度
スポーツエキスパート派遣数	目標		14	14	14
	実績		14	13	14
	達成率		100%	93%	100%
	目標				
	実績				
	達成率				

事業の内容と活動量

手段(どうすることによって)
①学校運動部活動の協力者として、顧問と取り組み内容等について協議し、生徒の活動を補助する。 ②競技力向上を図るため、技術指導を行う。

(単位:千円)

決算額			
	27年度	28年度	29年度
直接事業費	697	647	747
計	697	647	747

個別評価

	評価コメント(理由・説明)
事業実施の必要性	市内中学校運動部の競技レベルの向上のみならず中学生の体力向上や適正な運動習慣化についても成果がある。
活動内容の有効性	中学校運動部活動顧問との連携を取りながら進めている。
執行方法の効率性	学校との連携により効率的に事業を進めている。
公平性	指導者はボランティア意識をもって取り組んでいるが、休日などの指導を考慮すると、今後は謝金等を見直すことも必要となる。

総合評価

総合評価と所見	評価	総合コメント(個別評価の結果を踏まえて、事務事業の課題を整理)
	A	中学校運動部活動の成果は、着実にできており今後も事業を継続する必要がある。

A:計画どおり事業を進めることが適当である B:事業の進め方などに改善が必要である
C:事業規模・内容・実施主体の見直し、又は事業の統合の検討が必要である D:事業の休・廃止の検討が必要である

改革・改善策

具体的な改革・改善策	事業内容は特に問題ない。今後は指導の必要な競技種目を検討していく。
------------	-----------------------------------

【教育委員会事業評価シート】

事務事業名		子どもの体力向上推進事業費	担当部署	教育委員会 スポーツ課	
総合計画	大分類	第1章 ひとが元気	予算費目	会計	01 一般
	中分類	第1節 教育と文化のまちづくり		款	10 教育費
	小分類	5.生涯スポーツの振興		項	05 保健体育費
	010105			目	01 保健体育総務費

事業の対象

誰・何に対して	市内保育所(園)幼児、小中学校児童・生徒の体力の向上
---------	----------------------------

事業の目的と達成度

意図(どのようにしたいか)
市内小中学校児童生徒の体力の実態を把握し、学校と連携して、体力向上を図る。 平成28年度から、「幼児期運動促進普及啓発事業」と統合し、更に子供たちの運動能力の伸長と体力向上を図る。 保育所(園)、幼稚園、小学校、中学校が連携し、継続的な視点で子供たちの発達をとらえ、幼少期から多様な動きを獲得し、運動経験を充実させていくことで、運動好きな子供の育成、運動習慣の確立、体力向上を図る。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)					
指標名	単位		27年度	28年度	29年度
新体カテストの男女各学年の全国・県平均を上回った種目数	種目	目標	80	80	80
		実績	76	59	67
		達成率	95%	74%	84%
参加幼児数	人	目標	400	400	400
		実績	527	580	530
		達成率	132%	145%	133%

事業の内容と活動量

手段(どうすることによって)
①保育所(園)、幼稚園で体力測定、市内小中学校児童生徒の新体カテストの実施、分析 ②各学校における体力向上運動の推進 ③幼保小ヘブレイリーダーの派遣 ④指導者研修会の実施 ⑤親子運動教室の実施

(単位:千円)

決算額			
	27年度	28年度	29年度
直接事業費	168	560	623
計	168	560	623

個別評価

	評価コメント(理由・説明)
事業実施の必要性	全国的に児童生徒の体力低下が危惧されており、継続的に事業を進める必要がある。
活動内容の有効性	各所園、学校との連携により効率的に事業を進めている。
執行方法の効率性	各所園、小中学校の体力向上推進委員、小中部会員との連携により効率的に事業を進めている。
公平性	市内全所園、小・中学生を対象に実施している。

総合評価

総合評価と所見	評価	総合コメント(個別評価の結果を踏まえて、事務事業の課題を整理)
	A	体力向上の成果は、着実に出てきており今後も事業を継続する必要がある。

A:計画どおり事業を進めることが適当である B:事業の進め方などに改善が必要である
C:事業規模・内容・実施主体の見直し、又は事業の統合の検討が必要である D:事業の休・廃止の検討が必要である

改革・改善策

具体的な改革・改善策	事業内容は特に問題ない。
------------	--------------

【教育委員会事業評価シート】

事務事業名		バウンドテニス交流大会開催費		担当部署	教育委員会 スポーツ課	
総合計画	大分類	第1章 ひとが元気		予算費目	会計	01 一般
	中分類	第1節 教育と文化のまちづくり			款	10 教育費
	小分類	5 生涯スポーツの振興			項	05 保健体育費
	010105				目	01 保健体育総務費

事業の対象

誰・何に対して	滑川キラリン杯バウンドテニス交流大会の開催運営
---------	-------------------------

事業の目的と達成度

意図(どのようにしたいか)
2010年開催のスポレク祭において本市開催会場となったバウンドテニスの普及とともに県外出場選手に本市の地域住民との交流や滑川市をアピールする機会とする。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)					
指標名	単位		27年度	28年度	29年度
大会の参加人数	人	目標	120	120	120
		実績	81	79	120
		達成率	68%	66%	100%
		目標			
		実績			
		達成率			

事業の内容と活動量

手段(どうすることによって)
①47都道府県バウンドテニス協会への参加案内 ②選手の交流や技能に応じて参加できる大会運営 ③本市のPRとおもてなしによる大会・レセプションの運営

(単位:千円)

決算額			
	27年度	28年度	29年度
直接事業費	300	300	253
計	300	300	253

個別評価

	評価コメント(理由・説明)
事業実施の必要性	第23回スポーツ・レクリエーション祭バウンドテニス開催実績をいかし、競技団体が自主運営できるように検討が必要である。
活動内容の有効性	バウンドテニスの普及と市バウンドテニスクラブ育成の推進する。
執行方法の効率性	県バウンドテニス協会、市バウンドテニスクラブとの連携する。
公平性	参加選手、参加団体が限定されており、見直しの必要性がある。

総合評価

総合評価と所見	評価	総合コメント(個別評価の結果を踏まえて、事務事業の課題を整理)
	B	バウンドテニスの普及と交流を目的とした大会内容を関係団体と検討しながら事業を進めていく必要がある。

A:計画どおり事業を進めることが適当である B:事業の進め方などに改善が必要である
C:事業規模・内容・実施主体の見直し、又は事業の統合の検討が必要である D:事業の休・廃止の検討が必要である

改革・改善策

具体的な改革・改善策	参加団体、選手数の増加について競技関係団体と協議しながら事業を進めてまいりたい。
------------	--

【教育委員会事業評価シート】

事務事業名		市民スポーツフェスタ開催費		担当部署		教育委員会 スポーツ課	
総合計画	大分類	第1章 ひとが元気		予算 費 目	会計	01	一般
	中分類	第1節 教育と文化のまちづくり			款	10	教育費
	小分類	5 生涯スポーツの振興			項	05	保健体育費
	010105				目	01	保健体育総務費

事業の対象

誰・何に対して	市民スポーツの振興
---------	-----------

事業の目的と達成度

意図(どのようにしたいか)
市内の各種団体が一丸となって、市民参加型のスポーツイベントを開催し、スポーツへの意識の益々の高揚を図るものとする。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)					
指標名	単位		27年度	28年度	29年度
イベント参加者	人	目標	1,000	1,000	1,000
		実績	1,356	1,370	1,198
		達成率	136%	137%	120%
		目標			
		実績			
		達成率			

事業の内容と活動量

手段(どうすることによって)
様々なジャンルのスポーツ体験コーナーを設けることにより、多くの市民参加及び、スポーツへの関心の高まりが期待できる。

(単位:千円)

決算額			
	27年度	28年度	29年度
直接事業費	500	500	500
計	500	500	500

個別評価

	評価コメント(理由・説明)
事業実施の必要性	実施については、市体育協会に委託しており、各種団体との連携も図っている。
活動内容の有効性	新規事業であり、市民への浸透は若干低い、スポーツへの関心は確実に高まっている。
執行方法の効率性	市体育協会に委託しており、効率的な運営が可能である。
公平性	特別な参加費負担もなく、市民が参加しやすい構成となっている。

総合評価

総合評価と所見	評価	総合コメント(個別評価の結果を踏まえて、事務事業の課題を整理)
	A	各種団体との連携をこれまで以上に深めていき、滑川オリジナルのイベントとして大きく成長させていきたい。

A:計画どおり事業を進めることが適当である B:事業の進め方などに改善が必要である
C:事業規模・内容・実施主体の見直し、又は事業の統合の検討が必要である D:事業の休・廃止の検討が必要である

改革・改善策

具体的な改革・改善策	事業内容に特に問題はない。
------------	---------------

【教育委員会事業評価シート】

事務事業名		夢の教室開催費		担当部署	教育委員会 スポーツ課	
総合計画	大分類	第1章 ひとが元気		予算費目	会計	01 一般
	中分類	第1節 教育と文化のまちづくり			款	10 教育費
	小分類	5 生涯スポーツの振興			項	05 保健体育費
	010105				目	01 保健体育総務費

事業の対象

誰・何に対して	市内全小学校5年生・中学校2年生
---------	------------------

事業の目的と達成度

意図(どのようにしたいか)
<p>様々なアスリートを、特別授業講師「夢先生」として迎え、実体験等に基づく授業を通して、夢や目標に向けて努力しようとすることやフェアプレー精神、仲間を大切にする意識や態度を育む。</p>

成果指標(どの程度意図が達成されたか)					
指標名		単位	27年度	28年度	29年度
実施学校数	目標	校	7	9	9
	実績		7	9	9
	達成率		100%	100%	100%
	目標				
	実績				
	達成率				

事業の内容と活動量

手段(どうすることによって)
<p>①「夢の教室」(授業)の実施 ・夢先生、児童同士のコミュニケーションを図るためのゲーム ・夢先生による体験談をもとに夢・努力等考えるトーク、ディスカッション ・「夢シート」(児童の夢・考え等)の記入 ②「夢シート」への夢先生のコメント記入、配布</p>

(単位:千円)

決算額			
	27年度	28年度	29年度
直接事業費	1,144	2,139	2,289
計	1,144	2,139	2,289

個別評価

	評価コメント(理由・説明)
事業実施の必要性	児童の将来や生き方を考え、心を育てる機会として効果があり必要である。
活動内容の有効性	(公財)日本サッカー協会「JFAこころのプロジェクト」推進室と連携をとりながら進めている。
執行方法の効率性	学校との連携により効率的に事業を進めている。
公平性	市内全小学5年生と中学校2年生に公平に実施している。

総合評価

総合評価と所見	評価	総合コメント(個別評価の結果を踏まえて、事務事業の課題を整理)
	A	児童が夢や目標に向けての努力やフェアプレー精神などを考える貴重な機会であり、今後も事業を継続する必要がある。

A:計画どおり事業を進めることが適当である B:事業の進め方などに改善が必要である
 C:事業規模・内容・実施主体の見直し、又は事業の統合の検討が必要である D:事業の休・廃止の検討が必要である

改革・改善策

具体的な改革・改善策	H28年度から中学生へも拡大実施している。 H30年度からスポーツ教室を実施する。 事業実施の内容や成果を保護者等へも周知し、事業継続していく。
------------	--

【教育委員会事業評価シート】

事務事業名		スポーツ・健康づくり推進事業		担当部署	教育委員会 スポーツ課
総合計画	大分類	第1章 ひとが元気		予算費目	会計 01 一般
	中分類	第1節 教育と文化のまちづくり			款 10 教育費
	小分類	5 生涯スポーツの振興			項 05 保健体育費
	010105				目 01 保健体育総務費

事業の対象

誰・何に対して	市民のスポーツ振興と健康の保持増進
---------	-------------------

事業の目的と達成度

意図(どのようにしたいか)
<p>スポーツを通じて健康増進の意識醸成を図り、スポーツ無関心層への働きかけを行うことで、スポーツ実施率の向上を目指す。 そのため、その成果指標の指標名を「スポーツ実施率」とする。</p>

成果指標(どの程度意図が達成されたか)					
指標名	単位		27年度	28年度	29年度
スポーツ実施率	%	目標	50	50	50
		実績	46	未実施	未実施
		達成率	92%		
		目標			
		実績			
		達成率			

事業の内容と活動量

手段(どうすることによって)
<p>①ウォーキングイベントやウォーキング教室を開催する。 ②高齢者への働きかけを強化する。 ③健康ポイント制度を実施する。</p>

(単位:千円)

決算額			
	27年度	28年度	29年度
直接事業費	957	1,234	699
計	957	1,234	699

個別評価

	評価コメント(理由・説明)
事業実施の必要性	ウォーキングコースの周知と健康づくりの推進を図る。
活動内容の有効性	ウォーキングや健康ポイント制度を通して、市民の健康、体力づくりの推進を図る。
執行方法の効率性	講師(健康ウォーキング指導士)、歩こう会、スポーツ推進委員等と連携し開催した。
公平性	ウォーキングコースを市内全域に10コース整備し、計画的に誘導看板の設置を行っている。

総合評価

評価	総合コメント(個別評価の結果を踏まえて、事務事業の課題を整理)
総合評価と所見	<p>A</p> <p>ウォーキング教室や朝のつどい等のイベントを通して、市民の健康意識の広まりが期待できる。健康ポイント事業の創設が、さらなる事業効果の推進につながるよう、今後一層の事業の普及推進に努めたい。ウォーキングコースの誘導看板は今後計画的に整備を進めていく必要がある。</p>

A:計画どおり事業を進めることが適当である B:事業の進め方などに改善が必要である
C:事業規模・内容・実施主体の見直し、又は事業の統合の検討が必要である D:事業の休・廃止の検討が必要である

改革・改善策

具体的な改革・改善策	事業内容は特に問題ない。
------------	--------------

【教育委員会事業評価シート】

事務事業名		社会体育施設管理費		担当部署		教育委員会 スポーツ課	
総合計画	大分類	第1章 ひとが元気		予算 費目	会計	01	一般
	中分類	第1節 教育と文化のまちづくり			款	10	教育費
	小分類	5 生涯スポーツの振興			項	05	保健体育費
	010105				目	02	体育施設費

事業の対象

誰・何に対して	社会体育施設の管理
---------	-----------

事業の目的と達成度

意図(どのようにしたいか)
市内社会体育施設(下梅沢テニスコート、フットボールセンター富山等)及び学校体育施設開放の整備のほか、施設を安全に利用できるよう促進する。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)					
指標名	単位		27年度	28年度	29年度
下梅沢テニスコート 利用状況	人	目標	9,000	9,000	9,000
		実績	10,115	12,696	11,677
		達成率	112%	141%	130%
学校体育施設開放利 用状況	人	目標	100,000	100,000	100,000
		実績	105,308	105,141	99,020
		達成率	105%	105%	99%

事業の内容と活動量

手段(どうすることによって)
①下梅沢テニスコート等に係る管理運営及び修繕、改修により利用促進を図る。 ②学校グラウンド照明機器の修繕により安全な利用対策に努める。 ③学校体育施設開放利用調整会を開催し、公平かつ円滑な利用を促進する。

(単位:千円)

決算額			
	27年度	28年度	29年度
直接事業費	30,325	16,609	9,254
計	30,325	16,609	9,254

個別評価

	評価コメント(理由・説明)
事業実施の必要性	市民の身近なスポーツ施設として、本市スポーツ振興の重要な役割を担っている。
活動内容の有効性	計画的な施設管理に努めている。
執行方法の効率性	今後老朽化していく施設において、定期的な点検や計画的な修繕など、施設の長寿命化を図るため、対応していく必要がある。
公平性	施設利用料(照明施設利用料)を徴収している。

総合評価

総合評価と所見	評価	総合コメント(個別評価の結果を踏まえて、事務事業の課題を整理)
	A	体育施設(学校グラウンド含む)管理について、経年劣化等による老朽化が進む中、今後とも計画的な整備が必要である。

A:計画どおり事業を進めることが適当である B:事業の進め方などに改善が必要である
C:事業規模・内容・実施主体の見直し、又は事業の統合の検討が必要である D:事業の休・廃止の検討が必要である

改革・改善策

具体的な改革・改善策	今後も要望を聞き、必要性等を検討した上で整備を進める。
------------	-----------------------------

【教育委員会事業評価シート】

事務事業名	テニス村管理運営費		担当部署	教育委員会 スポーツ課	
総合計画	大分類	第1章 ひとが元気	予算費目	会計	01 一般
	中分類	第1節 教育と文化のまちづくり		款	10 教育費
	小分類	5 生涯スポーツの振興		項	05 保健体育費
	010105			目	02 体育施設費

事業の対象

誰・何に対して	みのわテニス村の管理運営
---------	--------------

事業の目的と達成度

意図(どのようにしたいか)
テニスコート、クラブハウス、健康休養施設について効率的に管理するとともに、利用率向上に努める。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)					
指標名	単位		27年度	28年度	29年度
テニス村利用者数	人	目標	75,000	75,000	75,000
		実績	56,171	59,212	55,389
		達成率	75%	79%	74%
		目標			
		実績			
		達成率			

事業の内容と活動量

手段(どうすることによって)
①市内外テニス愛好者、学校部活動への利用誘致 ②健康休養施設等の計画的な改修整備

(単位:千円)

決算額				
	27年度	28年度	29年度	
直接事業費	31,789	33,128	36,899	
計	31,789	33,128	36,899	

個別評価

	評価コメント(理由・説明)
事業実施の必要性	施設管理については、文化・スポーツ振興財団へ委託している。
活動内容の有効性	テニス村利用者数の増加に向けて、テニスコートの利用率向上が課題である。
執行方法の効率性	施設管理については、文化・スポーツ振興財団へ委託している。
公平性	利用料等については、近隣施設との差は無く適正である。

総合評価

総合評価と所見	評価	総合コメント(個別評価の結果を踏まえて、事務事業の課題を整理)
	B	新たな客層の獲得や施設の計画的な修繕において、今後とも実施していく。

A:計画どおり事業を進めることが適当である B:事業の進め方などに改善が必要である
C:事業規模・内容・実施主体の見直し、又は事業の統合の検討が必要である D:事業の休・廃止の検討が必要である

改革・改善策

具体的な改革・改善策	テニス村の今後の方向性について、各関係団体と協議する必要がある。
------------	----------------------------------

【教育委員会事業評価シート】

事務事業名		テニス村整備費	担当部署	教育委員会 スポーツ課	
総合計画	大分類	第1章 ひとが元気	予算費目	会計	01 一般
	中分類	第1節 教育と文化のまちづくり		款	10 教育費
	小分類	5 生涯スポーツの振興		項	05 保健体育費
	010105			目	02 体育施設費

事業の対象

誰・何に対して	みのわテニス村の施設整備
---------	--------------

事業の目的と達成度

意図(どのようにしたいか)
老朽化していくみのわテニス村の計画的整備を進める。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)					
指標名	単位		27年度	28年度	29年度
テニス村利用者数	人	目標	75,000	75,000	75,000
		実績	56,171	59,212	55,389
		達成率	75%	79%	74%
		目標			
		実績			
		達成率			

事業の内容と活動量

手段(どうすることによって)
経年劣化等によるテニス村の各施設(クラブハウス等)の計画的な改修

(単位:千円)

決算額			
	27年度	28年度	29年度
直接事業費	12,527	33,430	4,536
計	12,527	33,430	4,536

個別評価

	評価コメント(理由・説明)
事業実施の必要性	施設管理は、文化・スポーツ振興財団に委託しており、老朽化する施設の改修を計画的に実施していく。
活動内容の有効性	みのわテニス村全体の利用率向上に向けた新たな取り組みが必要である。
執行方法の効率性	管理については、文化・スポーツ振興財団に委託しており、計画的な改修を実施している。
公平性	安全に利用してもらうための施設整備を行っている。

総合評価

総合評価と所見	評価	総合コメント(個別評価の結果を踏まえて、事務事業の課題を整理)
	B	管理運営と同様、みのわテニス村の活性化を目指し、計画的な整備をしていく必要がある。

A:計画どおり事業を進めることが適当である B:事業の進め方などに改善が必要である
C:事業規模・内容・実施主体の見直し、又は事業の統合の検討が必要である D:事業の休・廃止の検討が必要である

改革・改善策

具体的な改革・改善策	みのわテニス村の活性化について、関係団体と協議していく必要がある。
------------	-----------------------------------

【教育委員会事業評価シート】

事務事業名		総合体育センター管理運営費		担当部署	教育委員会 スポーツ課
総合計画	大分類	第1章 ひとが元気		予算費目	会計 01 一般
	中分類	第1節 教育と文化のまちづくり			款 10 教育費
	小分類	5 生涯スポーツの振興			項 05 保健体育費
	010105				目 02 体育施設費

事業の対象

誰・何に対して	市民のスポーツ振興を図るための市総合体育センターの管理運営
---------	-------------------------------

事業の目的と達成度

意図(どのようにしたいか)
本市におけるスポーツの拠点施設としての総合体育センターについて、効率的に管理するとともに、利用率の向上に努める。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)					
指標名	単位		27年度	28年度	29年度
総合体育センター利用状況	人	目標	120,000	120,000	120,000
		実績	108,399	109,004	110,534
		達成率	90%	91%	92%
		目標			
		実績			
		達成率			

事業の内容と活動量

手段(どうすることによって)
①多くの市民に利用いただけるよう、利用調整の工夫 ②市内競技団体等との連絡調整 ③管理運営業務の効率化

(単位:千円)

決算額				
		27年度	28年度	29年度
直接事業費		26,967	26,967	27,926
計		26,967	26,967	27,926

個別評価

	評価コメント(理由・説明)
事業実施の必要性	(公財)滑川市体育協会へ施設管理委託をしている。
活動内容の有効性	利用者数も向上しており、順調であると考え。
執行方法の効率性	(公財)滑川市体育協会へ施設管理委託をしている。
公平性	(公財)滑川市体育協会へ施設管理委託をしている。

総合評価

	評価	総合コメント(個別評価の結果を踏まえて、事務事業の課題を整理)
総合評価と所見	A	体育協会への施設管理委託により、利用調整及び運営の点について成果を上げていると考えている。

A:計画どおり事業を進めることが適当である B:事業の進め方などに改善が必要である
C:事業規模・内容・実施主体の見直し、又は事業の統合の検討が必要である D:事業の休・廃止の検討が必要である

改革・改善策

具体的な改革・改善策	事業内容に特に問題はない。
------------	---------------

【教育委員会事業評価シート】

事務事業名		総合体育センター整備費	担当部署	教育委員会 スポーツ課	
総合計画	大分類	第1章 ひとが元気	予算費目	会計	01 一般
	中分類	第1節 教育と文化のまちづくり		款	10 教育費
	小分類	5 生涯スポーツの振興		項	05 保健体育費
	010105			目	02 体育施設費

事業の対象

誰・何に対して	市民スポーツ振興のため総合体育センターを整備
---------	------------------------

事業の目的と達成度

意図(どのようにしたいか)
<p>老朽化が目立つため、計画的な修繕を実施し、施設の長寿命化を図る。併せて、施設のリニューアルを施すことで、さらなる利用者の増加を目指す。</p>

成果指標(どの程度意図が達成されたか)					
指標名	単位		27年度	28年度	29年度
総合体育センター利用状況	人	目標	120,000	120,000	120,000
		実績	108,399	109,004	110,534
		達成率	90%	91%	92%
		目標			
		実績			
		達成率			

事業の内容と活動量

手段(どうすることによって)
<p>外壁や空調設備等、年次計画を定め、着実に実行していく。要望の高い、空調設備については、平成27年度に設置した。</p>

(単位:千円)

決算額			
	27年度	28年度	29年度
直接事業費	77,636	20,556	8,425
計	77,636	20,556	8,425

個別評価

	評価コメント(理由・説明)
事業実施の必要性	スポーツ振興の拠点施設として、市総合体育センターを計画的に整備していく。
活動内容の有効性	老朽化等による緊急的な改修工事や施設(機器)の更新が主である。
執行方法の効率性	緊急的な改修工事や補助事業等による実施する。
公平性	安心・安全に利用いただくための整備を行っている。

総合評価

	評価	総合コメント(個別評価の結果を踏まえて、事務事業の課題を整理)
総合評価と所見	A	緊急的な工事等に対応してきているが、竣工後20年以上が経過しており、総合的な施設の改修が必要と思われる。

A:計画どおり事業を進めることが適当である B:事業の進め方などに改善が必要である
C:事業規模・内容・実施主体の見直し、又は事業の統合の検討が必要である D:事業の休・廃止の検討が必要である

改革・改善策

具体的な改革・改善策	事業内容に特に問題はない。
------------	---------------

【教育委員会事業評価シート】

事務事業名		スポーツ・健康の森公園管理運営費		担当部署		教育委員会 スポーツ課	
総合計画	大分類	第1章 ひとが元気		予算費目	会計	01	一般
	中分類	第1節 教育と文化のまちづくり			款	10	教育費
	小分類	5 生涯スポーツの振興			項	05	保健体育費
	010105				目	02	体育施設費

事業の対象

誰・何に対して	市民のスポーツ振興を図るためのスポーツ・健康の森公園の管理運営
---------	---------------------------------

事業の目的と達成度

意図(どのようにしたいか)
本市におけるスポーツの中心施設としてのスポーツ・健康の森公園について、効率的に管理するとともに、利用率の向上に努める。

成果指標(どの程度意図が達成されたか)					
指標名	単位		27年度	28年度	29年度
スポーツ・健康の森公園利用状況	人	目標	55,000	55,000	55,000
		実績	24,385	52,299	48,223
		達成率	44%	95%	88%
		目標			
		実績			
		達成率			

事業の内容と活動量

手段(どうすることによって)
①多くの市民に利用いただけるよう、イベント等を開催し、施設の周知に努める。 ②管理運営業務の効率化を図る。

(単位:千円)

決算額			
	27年度	28年度	29年度
直接事業費	20,045	21,138	18,944
計	20,045	21,138	18,944

個別評価

	評価コメント(理由・説明)
事業実施の必要性	(公財)滑川市体育協会へ施設管理委託をしている。
活動内容の有効性	市民の健康・体づくり、憩いの場として維持管理に努めている。
執行方法の効率性	(公財)滑川市体育協会へ施設管理委託をしている。
公平性	(公財)滑川市体育協会へ施設管理委託をしている。

総合評価

	評価	総合コメント(個別評価の結果を踏まえて、事務事業の課題を整理)
総合評価と所見	A	市民の健康、体づくりの場として活用いただけるようイベント等を開催したり、環境にも配慮した維持管理に努めている。

A:計画どおり事業を進めることが適当である B:事業の進め方などに改善が必要である
C:事業規模・内容・実施主体の見直し、又は事業の統合の検討が必要である D:事業の休・廃止の検討が必要である

改革・改善策

具体的な改革・改善策	事業内容に特に問題はない。
------------	---------------